



(第 49 図)

(47) 大野郡高山町区分略図 (第 49 図)

年代 明治 31 年～32 年頃

寸法 149.5×281.5

所蔵 高山市教育委員会 (高山町役場文書)

高山町における小字名が記してあり、宮川の東側は向町、下向町、天ノ皮、塔ノ下、浦町、川原、杉ノ下など、昭和 17 年の町名誕生前の地区名がわかる。馬場町は「字馬場通」とある。

明治 30 年 4 月 1 日、大野郡役所ができ大正 15 年 6 月まで存続した。また高山尋常高等小学校は明治 30 年 3 月 3 日に開校し、翌 31 年 8 月に城山の斐太中学校々舎を買い入れ第 2 校とした。高山城三之丸跡の中教院は明治 12 年 4 月 21 日にでき、同 32 年に神宮奉斎会高山支部と改称している。のち同所には明治 42 年飛騨招魂社が建ち、昭和 14 年に飛騨護国神社と改称している。

これらから本図の年代を推定すると第 2 校の開校した明治 31 年 8 月から中教院の改称した同 32 年の間となる。

※掲載されている情報 (文章、写真など) は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。